

I 国際化の基本方針・計画

1 名古屋市基本構想

昭和 52 年に議会の議決を経て定められた「名古屋市基本構想」は、本市の指導理念として位置づけられ、名古屋市総合計画 2028 をはじめ、市の諸計画の上位構想としての役割を果たすものである。

国際化については、「Ⅲ 名古屋の役割」のなかで、「3 国際的にひらかれた都市」として、基本方針が定められている。

3 国際的にひらかれた都市

日本の経済的、文化的な国際交流は、ますます進展するものと想定されている。

わたしたちは、このことを十分認識し、常に広く世界に目を向け、アジアの各国をはじめ諸外国との経済の交流はもとより、情報・文化・学術・スポーツなどの幅広い交流を強め、国際感覚豊かな市民性を育てる。

また、名古屋およびその周辺地域の国際化をはかるため、国際的な機関との連携を強めるとともに、名古屋港の機能の強化、国際空港など交通・通信手段の発達に対応した施設の整備、新しい国際的機関の誘致などにつとめる。

＜参考＞<http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/66-6-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

2 名古屋市総合計画 2028

「名古屋市総合計画 2028」は、「名古屋市基本構想」のもと、本市がめざす都市像などを「長期的展望に立ったまちづくり」として示し、その実現に向けた取り組みを総合的・体系的に取りまとめた計画として、令和 6 年 10 月に策定された（計画期間：令和 6 年度から令和 10 年度まで）。

リニア中央新幹線の開業や、全国の高齢者人口がピークを迎える時期を念頭に置き、令和 22（2040）年頃を見据え、名古屋を取り巻く状況やニーズを分析した上で「基本方針」を示し、「めざす都市像」を描いている。「めざす都市像の実現に向けた取り組み」には、「めざす都市像」を実現するため、計画期間内において優先的に取り組む分野横断的な「重点戦略」を描くとともに、推進する 42 施策と各施策を推進する上で重要な 506 事業を掲載している。

国際化については、施策 35 において「国際的に開かれたまちづくりを進めます」、多文化共生については、施策 10 において「多文化共生を進めます」とし、成果指標等を定め、事業に取り組むこととしている。

＜参考＞<https://www.city.nagoya.jp/somu/page/0000178326.html>